

国内取扱いSPDR® ETFラインアップ の再確認

～ SPYとそれを取り巻く商品体系、ならびに
ビジネスパートナーとのマルチアセット展開 ～

2023年4月5日

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ETFビジネスヘッド 杉原正記

ステート・ストリート・グローバル・ アドバイザーズとそのETFビジネス

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

米国（マサチューセッツ州ボストン）を拠点とし、グローバルにビジネスを展開

1978年の資産運用ビジネスの開始以来、インデックス型およびアクティブ型の投資戦略とソリューションの提供を通じ、顧客の投資目標の達成を支援している世界屈指の運用機関

3.48兆米ドル

の運用資産残高¹

2,100社以上

の機関投資家顧客²

3,200万

の確定拠出年金参加者³

57カ国

の顧客をカバー²

10カ所

の投資拠点を展開²

24時間

のグローバル取引体制⁴

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

1 当データは2022年12月31日時点のものであり、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・ディストリビューターズLLC（SSGA FD）が専らマーケティング・エージェントを務めるSPDR商品に関わる約586億米ドルの資産を含みます。SSGA FDとステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは関連会社です。当データは未監査のデータです。

2 当データは2022年9月30日時点のものです。

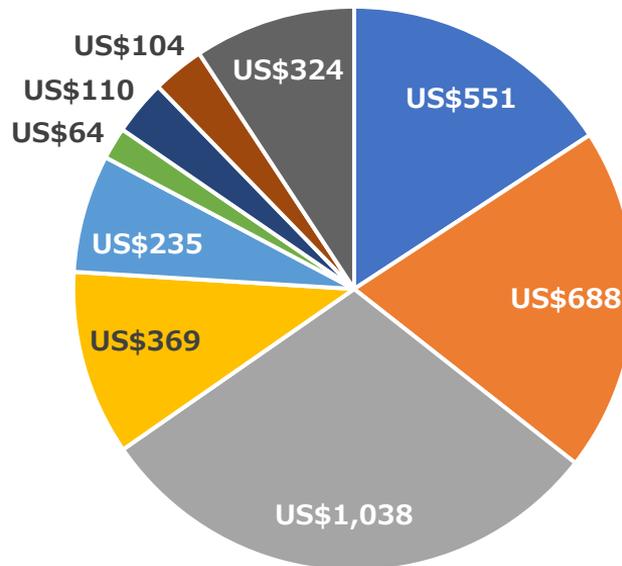
3 労働省（DOL）、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス・マネー・マーケット・ディレクトリーズ（MMD）およびステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズの2022年12月31日時点のデータによる推定値です。

4 地域を跨いでの市場取引時間中です。

運用資産残高の顧客セグメント別内訳

3.48兆米ドルの運用資産残高の内訳¹（単位：10億米ドル）

- 確定給付年金（DB）
- 確定拠出年金（DC）
- インターメディアリー
- 公的機関※
- キャッシュ合同運用
- キャッシュ有価証券レンディング
- 非営利法人
- 保険会社
- その他



出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

¹ 当データは2022年12月31日時点のものであり、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・ディストリビューターズLLC（SSGA FD）が専らマーケティング・エージェントを務めるSPDR商品に関わる約586億米ドルの資産を含みます。SSGA FDとステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは関連会社です。当データは未監査のデータです。

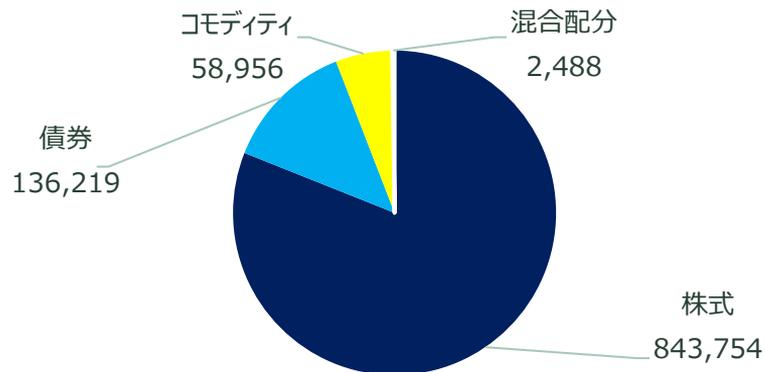
※公的機関には、DBやDCを含む全てのプラン型資産を含めています。

ETFのパイオニア、かつリーディング・プレイヤー

1993年に米国初のETFを設定して以来、主にSPDR® のブランド名で株式、債券およびコモディティ（金）など様々なアセットクラスのETFをグローバルに展開

ETFの運用資産残高は約1.04兆米ドルと、ETFで世界第3位のグローバル・マネージャー

アセットクラス別の内訳（単位：100万米ドル）



ファンド籍別の内訳

ファンド籍の地域	ファンド籍	ファンド数	資産残高 (単位：100万米ドル)
アメリカ地域	米国	141	979,624
EMEA地域	アイルランド	105	51,595
	オーストラリア	16	5,484
アジア太平洋地域	香港	1	196
	シンガポール	2	4,518
合計		265	1,041,417

出所：ブルームバーグ・ファイナンスL.P.、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2022年12月31日時点）

SPDR®が提供するサポートやサービス

SPDR®では、詳細な商品知識やキャピタル・マーケットに関する情報、ならびにETFに関する啓もうに至るまで、各専門チームのスペシャリストが多様なサポートやサービスを提供



出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
上記は専ら説明のために作成されたイメージです。

SPDR[®] S&P 500[®] ETF (SPY) の誕生と30年間の発展

米国初のETFは投資を民主化した

SPDR[®] S&P 500[®] ETF (SPY) は、これまでアクセス出来なかった市場への扉を開いた

初の米国上場ETF

1993年1月に運用資産残高653万米ドルでデビュー

2011年3月24日、東京証券取引所への重複上場により、日本市場にデビュー

世界最大

2023年3月17日時点で、SPYの運用資産残高は3,555億米ドルに達し、世界最大のETFとなっている

SPDR[®] S&P 500[®] ETF

- ティッカー : SPY (NYSEアーカ)
1557 (東証)
- ベンチマーク : S&P 500[®] 指数
- 純資産総額 : 3,555億米ドル
- 総経費率 : 年率0.0945%
- 分配頻度 : 原則として四半期毎

出所：ブルームバーグ・ファイナンスL.P.、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2023年3月17日時点）
上記データは参照日時点のものであり、随時変動します。あるいは、今後変更される可能性があります。過去の実績は将来の実績として信頼できる指標にはなりません。

危機から生まれた革新

1987年のブラックマンデーの後、流動性が重要であることが認識された

ブラックマンデー

1987年のブラックマンデーの後、
アメリカン証券取引所がステート・
ストリートに打診

市場の大暴落

グローバル市場はわずかな期間で
大暴落した

SEC（米国証券取引 委員会）の調査

株式市場には、先物市場のように
市場を表象する単一の有価証券が
存在しなかった

市場がストレス下にある期間の流動性

投資家はSPYの持つ巨大な流動性プールに引き寄せられる – 特に流動性が最も必要とされる時において

- これまで市場がストレス下にある期間において、SPYは意図されたパフォーマンスを示してきた：
 - 2010年と2015年のフラッシュ・クラッシュの直後
 - 2011年の米国債の格下げショック時
 - 世界金融危機時
 - 最近のコロナ禍に関連した市場ボラティリティ上昇時
- 新型コロナウイルスのパンデミックが始まり、市場の急落が見られ始めた頃の2020年2月28日、SPYは1日の取引金額が1,000億米ドルを超えた初のETFとなった

出所：ブルームバーグ・ファイナンスL.P.、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2022年12月31日時点）
過去の実績は将来の実績として信頼できる指標にはなりません。

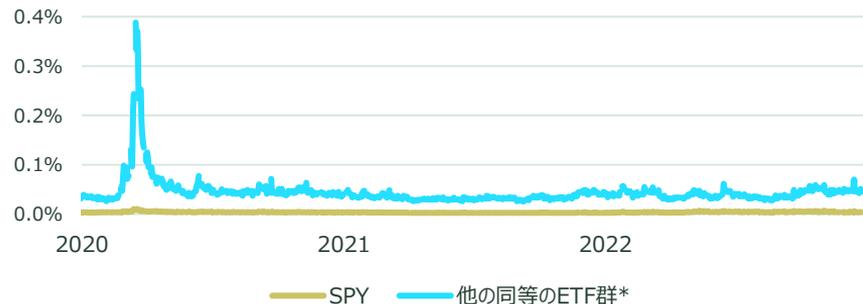
SPDR® のキャピタル・マーケット・グループによる 取引データ分析 – SPY

2022年第4四半期、SPYの取引所での
ビッド／アスクの平均スプレッドは平均0.004%
で取引された

2022年	SPY	他の同等のETF群*
米国市場での 1日当たり 平均取引金額	388億米ドル	3億8,700万米ドル
米国市場での ビッド／アスクの 平均スプレッド	0.004%	0.047%

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、ブルームバーグ・ファイナンスL.P.
(2022年12月31日時点) 過去の実績は将来の実績として信頼できる指標にはなりません。
*他の同等のETF群とは、S&P 500指数に連動する米国上場ETFの時価総額上位15銘柄を含んでいます。

ETFのビッド／アスク・スプレッドの過去平均の推移



SPYの1日当たり平均取引金額 (直近30日間のローリング・ベース)

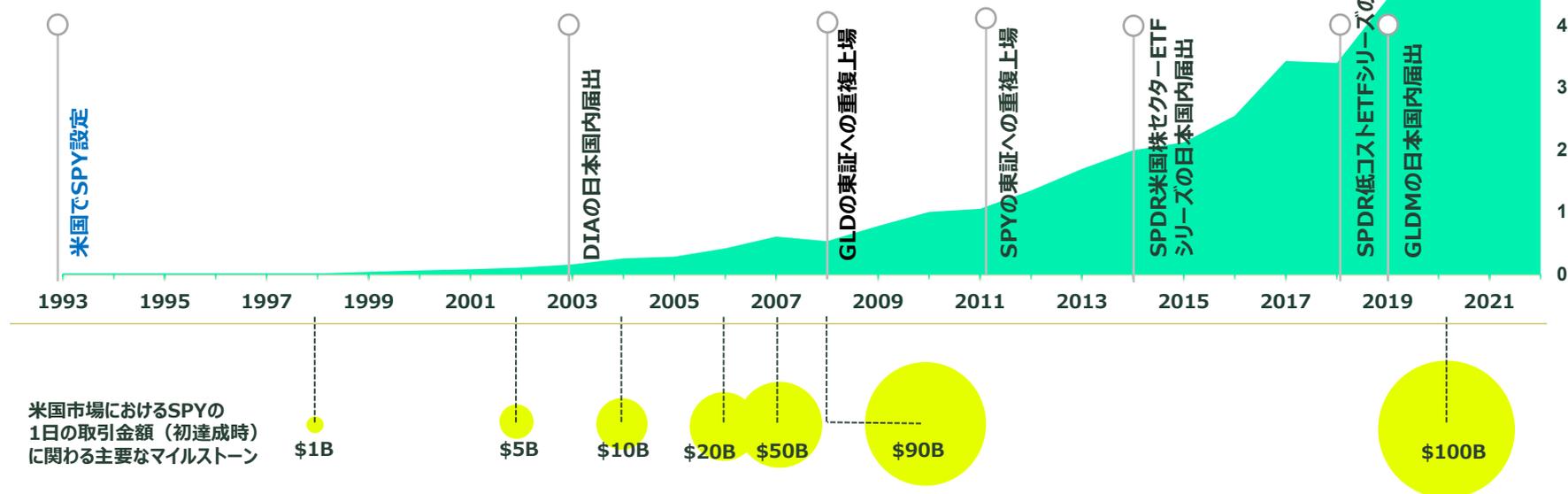


過去30年の米国ETF市場の成長

(単位：兆米ドル)

米国上場ETFの総資産残高の推移

(および米国市場におけるSPYの1日の取引金額と日本でのSPDRラインアップ拡充に関わる主要なマイルストーン)



出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・リサーチ・チーム（2022年12月20日時点）
過去の実績は将来の実績として信頼できる指標にはなり得ません。

SPYを取り巻く 国内取扱い株式ETFのラインアップ

SPYを中心に、様々な投資戦略の採用が可能

【グロース株】 SPYG

【バリュー株】 SPYV

【高配当株】 SPYD

【安定配当株】 SDY

【中型株】 SPMD

【小型株】 SPSM

【トータル・マーケット】 SPTM

米国の株式

【バルチップ°株】 DIA

【ESG株】 SHE

【大型株】 SPLG

【大型株】 SPY

【大型セクター株】
XLY、XLE、XLF、
XLU、XLC、XLI、
XLP、XLB、XLK、
XLREおよびXLV

【不動産株】 RWR



出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2023年3月17日時点） 上記は専ら説明のために作成されたイメージです。

① 米国株のセクター別投資戦略

セクター別投資戦略を導入する際のアプローチ

トップダウン型

マクロ経済環境の調査と、ビジネスサイクルの分析を行う

テーマ型

マクロ経済における特定要素の変化に基づいたポジションを取る

持続的な産業動向の変化を見極め、経済の特定セグメントにおける長期的な成長トレンドを利用する

ボトムアップ型

バリュエーションや利益の動向など、各セクターのファンダメンタルズを評価する

魅力的なバリュエーションおよび（または）力強いセンチメントを示すセクターのポジションを取る

テクニカル型

最近のパフォーマンスに基づき、各セクターをオーバーウェイトあるいはアンダーウェイトする

① 米国株のセクター別投資戦略のアプローチ例

各セクターのパフォーマンスは、経済やビジネスのサイクルの各フェイズで差異が生じる傾向がある
こうしたサイクルのシフトを捉え、各フェイズで恩恵を受け得るセクターを意識したポジションを取る

拡大期間	減速期間	リセッション期間	回復期間
++ 金融 テクノロジー	++ 生活必需品 ヘルスケア	++ 生活必需品 公益事業	++ 一般消費財 不動産
+ コミュニケーション・サービス	+ 資本財	+ ヘルスケア	+ 素材
- 生活必需品	- 素材	- コミュニケーション・サービス	- ヘルスケア
-- ヘルスケア 公益事業	-- 一般消費財 不動産	-- 不動産 テクノロジー	-- 生活必需品 公益事業

エネルギー：当セクターにおけるアウトプットの代替可能性とグローバル・コモディティ市場への高い集中性のため、エネルギー関連企業の利益は、世界的な原油の需給によってより大きな影響を受けます。また地政学的な緊張は、当セクターに対し、より特質的なリスクをもたらします。

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2022年12月31日時点） ++ないし--の印は、当該環境において最上位ないし最下位のパフォーマンスとなるセクターを示します。+ないし-の印は、当該環境において3番目の上位ないし下位のパフォーマンスとなるセクターを示します。上記は専ら説明のために作成されたイメージであり、投資アドバイスとして解釈されるべきではありません。

セレクト・セクターSPDR[®] ファンド・シリーズ

当シリーズ全11銘柄の概要データ（2023年3月17日時点）

主要投資セグメント （主な投資対象は S&P 500 [®] 指数 の構成銘柄）	ティッカー	ファンド名称	主要 取引所	総経費率	直近1年間の 分配利回り [※]	純資産総額 （100万米ドル）
一般消費財セクター	XLY	一般消費財セレクト・セクターSPDR [®] ファンド	NYSEアーカ	0.10%	0.91%	\$13,650.35
エネルギー・セクター	XLE	エネルギー・セレクト・セクターSPDR [®] ファンド	NYSEアーカ	0.10%	4.18%	\$35,435.02
金融セクター	XLF	金融セレクト・セクターSPDR [®] ファンド	NYSEアーカ	0.10%	2.25%	\$28,892.53
公益事業セクター	XLU	公益事業セレクト・セクターSPDR [®] ファンド	NYSEアーカ	0.10%	3.07%	\$15,394.50
コミュニケーション・サービス・セクター	XLC	コミュニケーション・サービス・セレクト・セクターSPDR [®] ファンド	NYSEアーカ	0.10%	0.96%	\$9,055.04
資本財セクター	XLI	資本財セレクト・セクターSPDR [®] ファンド	NYSEアーカ	0.10%	1.66%	\$13,195.31
生活必需品セクター	XLP	生活必需品セレクト・セクターSPDR [®] ファンド	NYSEアーカ	0.10%	2.55%	\$16,388.62
素材セクター	XLB	素材セレクト・セクターSPDR [®] ファンド	NYSEアーカ	0.10%	2.33%	\$5,295.07
情報技術セクター	XLK	テクノロジー・セレクト・セクターSPDR [®] ファンド	NYSEアーカ	0.10%	0.90%	\$41,668.23
不動産セクター	XLRE	不動産セレクト・セクターSPDR [®] ファンド	NYSEアーカ	0.10%	3.77%	\$4,507.63
ヘルスケア・セクター	XLV	ヘルスケア・セレクト・セクターSPDR [®] ファンド	NYSEアーカ	0.10%	1.58%	\$37,918.43

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2023年3月17日時点）

※直近1年間の分配利回りは、参照日（2023年3月17日）以前の1年間における米ドル分配金の合計額を、参照日の米ドル基準価額で割って計算しています。

上記データは参照日時点のものであり、随時変動します。あるいは、今後変更される可能性があります。過去の実績は将来の実績として信頼できる指標にはなり得ません。

② 米国株のスタイル別／高配当投資戦略

強固なコアをベースに、特定の投資目標に向けて資産配分をカスタマイズする

グロース戦略

コア株式エクスポージャーの一部を、平均より高い利益成長が期待できる株式にフォーカスしたセグメントに配分する

バリュー戦略

コア株式エクスポージャーの一部を、バリュエーションの改善によって長期的な価格上昇の機会が期待できるセグメントに配分する

高配当戦略

コア株式エクスポージャーの一部を、平均より高い分配利回りが期待できる株式にフォーカスしたセグメントに配分する

SPDR® の低コスト・スタイル別／高配当ETF

S&P 500® 指数に連動するコアETFから、低コストのスタイル別／高配当ETFを展開

【コア】SPY

SPDR® S&P 500® ETF

- ・ ベンチマーク：S&P 500® 指数
- ・ 純資産総額：3,555億米ドル
- ・ 総経費率：年率0.0945%

【コア】SPLG

SPDR® ポートフォリオS&P 500® ETF

- ・ ベンチマーク：S&P 500® 指数
- ・ 純資産総額：151億米ドル
- ・ 総経費率：年率0.03%



【グロース株】SPYG

SPDR® ポートフォリオS&P 500® グロース株式ETF

- ・ ベンチマーク：S&P 500® グロース指数
- ・ 純資産総額：150億米ドル
- ・ 総経費率：年率0.04%

【バリュー株】SPYV

SPDR® ポートフォリオS&P 500® バリュー株式ETF

- ・ ベンチマーク：S&P 500® バリュー指数
- ・ 純資産総額：151億米ドル
- ・ 総経費率：年率0.04%

【高配当株】SPYD

SPDR® ポートフォリオS&P 500® 高配当株式ETF

- ・ ベンチマーク：S&P 500® 高配当指数
- ・ 純資産総額：64億米ドル
- ・ 総経費率：年率0.07%

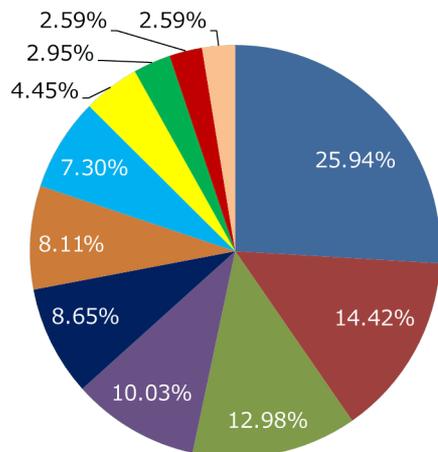
出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2023年3月17日時点）

上記データは参照日時点のものであり、随時変動します。あるいは、今後変更される可能性があります。過去の実績は将来の実績として信頼できる指標にはなりません。

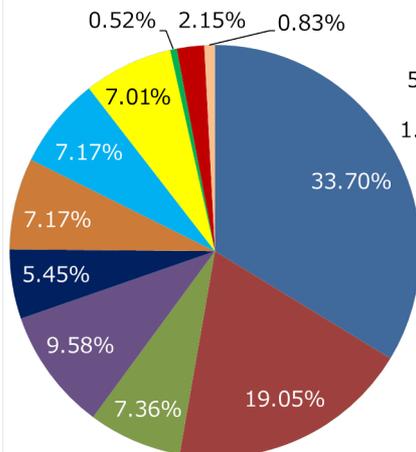
SPDR® の低コスト・スタイル別／高配当ETF

世界産業分類基準（GICS）による、SPYと各ETFの業種別構成比率の比較

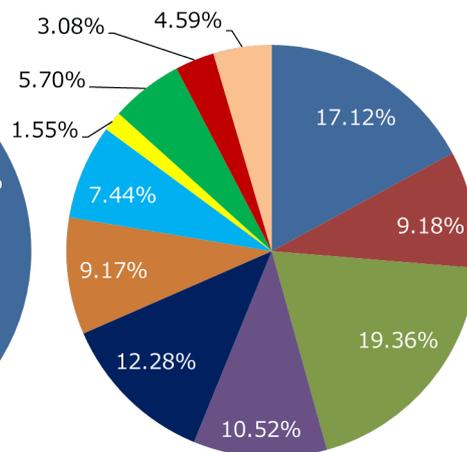
【コア】SPY



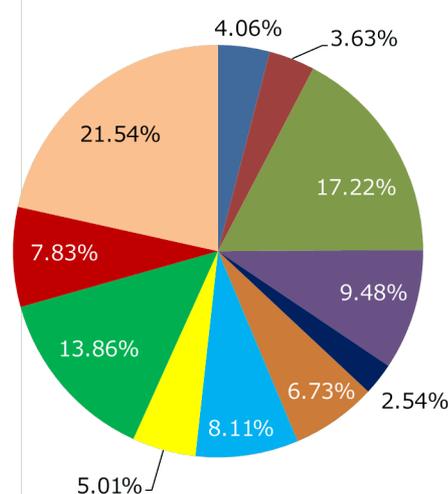
【グロース株】SPYG



【バリュー株】SPYV



【高配当株】SPYD



■ 情報技術 ■ ヘルスケア ■ 金融 ■ 一般消費財・サービス ■ 資本財・サービス ■ コミュニケーション・サービス ■ 生活必需品 ■ エネルギー ■ 公益事業 ■ 素材 ■ 不動産

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2023年3月17日時点）

上記データは参照日時点のものであり、随時変動します。過去の実績は将来の実績として信頼できる指標にはなりません。

③ 米国株の低コスト・サイズ別投資戦略

S&P 500[®] 指数に連動するコアETFから、低コストのサイズ別ETFを展開

【コア】SPY

SPDR[®] S&P 500[®] ETF

- ・ ベンチマーク：S&P 500[®] 指数
- ・ 純資産総額：3,555億米ドル
- ・ 総経費率：年率0.0945%

【コア】SPLG

SPDR[®] ポートフォリオS&P 500[®] ETF

- ・ ベンチマーク：S&P 500[®] 指数
- ・ 純資産総額：151億米ドル
- ・ 総経費率：年率0.03%



【中型株】SPMD

SPDR[®] ポートフォリオS&P 400[™] 中型株式ETF

- ・ ベンチマーク：S&P中型株400指数
- ・ 純資産総額：57億米ドル
- ・ 総経費率：年率0.05%

【小型株】SPSM

SPDR[®] ポートフォリオS&P 600[™] 小型株式ETF

- ・ ベンチマーク：S&P小型株600指数
- ・ 純資産総額：48億米ドル
- ・ 総経費率：年率0.05%

【トータル・マーケット】SPTM

SPDR[®] ポートフォリオS&P 1500[®] コンプジット・
ストック・マーケットETF

- ・ ベンチマーク：S&Pコンプジット1500指数
- ・ 純資産総額：57億米ドル
- ・ 総経費率：年率0.03%

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2023年3月17日時点）

上記データは参照日時点のものであり、随時変動します。あるいは、今後変更される可能性があります。過去の実績は将来の実績として信頼できる指標にはなりません。

ビジネスパートナーとの マルチアセット展開

債券ETF（アクティブ運用型）

① SPDR® ブラックストーン・シニアローンETF

主な特徴

- ・ シニアローンを主な投資対象とし、投資元本の保全を図りつつ、インカム収益の獲得を目指す
- ・ 非効率性が高いローン市場に対し、アクティブ運用によるアプローチを採用
- ・ ブラックストーン・クレジットとのパートナーシップにより、当社の知識と経験に基づく運用ノウハウを享受
- ・ 変動金利型ローンが主な投資対象であるため、金利デフレーションのリスクは限定的

SPDR® ブラックストーン・シニアローンETF

- ・ ティッカー : SRLN (NYSEアーカ)
- ・ 運用会社 : SSGAファンズ・マネジメント・インク
- ・ サブアドバイザー : ブラックストーン・リキッド・クレジット・ストラテジーズ LLC
- ・ プライマリ・ハンチマーク : Markit iBoxx米ドル建てリキッド・レバレッジド・ローン指数
- ・ セカンダリー・ハンチマーク : モーニングスター-LSTA米国レバレッジド・ローン100指数
- ・ 純資産総額 : 51億米ドル
- ・ 総経費率 : 年率0.70%
- ・ 分配頻度 : 原則として毎月

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2023年3月17日時点）

上記データは参照日時点のものであり、随時変動します。あるいは、今後変更される可能性があります。過去の実績は将来の実績として信頼できる指標にはなりません。

債券ETF（アクティブ運用型）

② SPDR® ダブルライン・トータル・リターン・タクティカルETF

主な特徴

- いかなる市場環境においてもトータルリターンを最大化することを目指す
- アクティブなセクター配分と銘柄選択を通じ、伝統的および非伝統的な債券クラスを組み合わせる投資
- ダブルライン・キャピタルとのパートナーシップにより、当社の知識と経験に基づく運用ノウハウを享受
- 部分的に、債券市場のミスプライスの活用、およびハイイールド債や新興国債券などへの投資を行うことでベンチマークをアウトパフォームすることを目指す

SPDR® ダブルライン・トータル・リターン・タクティカルETF

- ティッカー : TOTL (NYSEアーカ)
- 運用会社 : SSGAファンズ・マネジメント・インク
- サブアドバイザー : ダブルライン・キャピタルLP
- ベンチマーク : ブルームバーグ米国総合指数
- 純資産総額 : 28億米ドル
- 総経費率 : 年率0.55%
- 分配頻度 : 原則として毎月

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2023年3月17日時点）

上記データは参照日時点のものであり、随時変動します。あるいは、今後変更される可能性があります。過去の実績は将来の実績として信頼できる指標にはなりません。

金ETF

GLD[®]

SPDR[®] ゴールド・シェア

最大の残高と最大の流動性を有する金ETF

- 2004年のGLDの誕生により、全ての投資家が透明性およびコスト効果の高い金へのアクセスを利用出来るようになった
- 現在、GLDは世界で最大の残高¹と最大の取引金額²を有する金ETFとなっている
- GLDは、戦略的あるいは長期的な投資家に対し、相対的に容易な参入機会や低いバランス・コスト、および力強い選択可能性を提供し得る
- GLDは世界の様々な国に上場されており、投資家が様々な時間帯で金を取引することを可能にしている（日本では東証に“1557”のコードで上場）

GLDM[®]

SPDR[®] ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト

SPDR[®]における低経費率の金ETF

- GLDMはポートフォリオのコア保有資産としての役割を果たすべく、2018年に設定された
- GLDMは、より少ないコストで金への長期的、戦略的な資産配分の恩恵を得る可能性を提供する
- GLDMは、純粋なバイ・アンド・ホールド投資家にとって、より低い受益権価格および保有コスト（経費率は年率0.10%）を提供する

GLDおよびGLDMへのいかなる投資にも損失のリスクが伴います。いずれのファンドも利益や損失に対するいかなる保証を確約するものでもありません。

¹ 出所：ブルームバーグ・ファイナンスL.P.、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2022年12月31日時点で535億米ドル）

² 出所：ブルームバーグ・ファイナンスL.P.、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2022年12月31日時点での名目価格による比較）

上記データは参照日時点のものであり、今後変更される可能性があります。過去の実績は将来の実績として信頼できる指標にはなりません。

金ETF (続き)

	SPDR® ゴールド・シェア (GLD)	SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト (GLDM)
経費率 (%)	0.40	0.10
現物の金の裏付け	あり	あり
ファンド形態	グラントー・トラスト (譲与者信託)	グラントー・トラスト (譲与者信託)
設定日における 受益権一口当たりの価格	10分の1オンス ¹ に相当する金の米ドル建て価格	50分の1オンス ¹ に相当する金の米ドル建て価格
運用戦略	金の米ドル建て価格に連動	金の米ドル建て価格に連動
設定日	2004年11月18日	2018年6月25日
基準価額において参照する 金のベンチマーク価格	LBMA午後金価格	LBMA午後金価格
金のカストディアン／保管場所	HSBCバンクPlc／ロンドン JPモルガン・チェース・バンク／ロンドン、ニューヨークおよび チューリッヒ	ICBCスタンダード・バンクPlc／ロンドン

GLDおよびGLDMへのいかなる投資にも損失のリスクが伴います。いずれのファンドも利益や損失に対するいかなる保証を確約するものでもありません。

¹ 日々賦課され累積される運用報酬に基づき、受益権一口当たりの裏付けとなる金の量は時間の経過とともに減少します。なお、GLDMは2022年2月23日に1:2の比率で受益権の併合を行っています。上記データは参照日時点のものであり、今後変更される可能性があります。

免責事項

免責事項

本資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法およびその他日本の法律に基づく開示資料ではありません。

本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社を含むそのグループ会社が提供する外国籍ETF等に関する情報を含む投資情報の提供を目的として、グループ会社により作成された資料を元に作成しており、投資の勧誘等を目的とするものではありません。本資料には、日本国内での募集の取扱い等に係る金融庁への届出等がされていない外国籍ETFに関する情報も含まれています。国内の金融商品取引所に上場していないETFについて、金融商品取引法に基づいた発行者開示は行われていません。

本資料は各種の信頼できると考えられる情報・データに基づき作成しておりますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。こうした情報は不完全であるか、要約されている場合があります。また、本資料に記載している各種情報・データは、特に記載のない限り作成時点のものでありこれらは市場動向やその他の状況等によって随時変動し、あるいは変更されることがあります。

本資料に記載している各種シミュレーション・データは、過去のデータに基づき当社モデルを利用したバックテスト結果であり、将来の運用収益を保証するものではありません。実際の運用収益はバックテスト結果から大きく異なる可能性があります。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。本資料内の意見は全て当社あるいはグループ会社の判断で構成されており、事前に通知することなく変更される可能性があります。なお、本資料中のステート・ストリートに関する記述には、ステート・ストリート・コーポレーションおよびその関係会社が含まれる場合があります。ステート・ストリートの関係会社は、本資料のETFに関するサービスを提供すると同時に、信託報酬ないしその他の報酬等を受け取ります。

免責事項

< 登録商標等について >

“Standard & Poor’s®”、“S&P®”、“SPDR®”は、Standard & Poor’s Financial Services LLC（以下「S&P」）の登録商標です。“Dow Jones”は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（以下「ダウ・ジョーンズ」）の登録商標です。これらの登録商標は、S&P Dow Jones Indices LLC（以下「SPDJI」）が使用許諾を得ており、ステート・ストリート・コーポレーションは特定の目的の使用について再許諾を受けています。SPDJI、ダウ・ジョーンズ、S&P、それぞれの関連会社及び第三者の使用許諾者は、ステート・ストリートが提供する金融商品のスポンサーではなく、これらの商品の推奨・販売・宣伝もしていません。また、SPDJI、ダウ・ジョーンズ、S&P、それぞれの関連会社及び第三者の使用許諾者は、これらの商品への投資の適否に関していかなる意見表明もしておらず、関連する指数に係るいかなる過誤、遺漏ないし中断等に対しても責任を一切負いません。

その他のインデックス、登録商標ないしサービスマークに関しては、各会社及びその関係会社に帰属し、ステート・ストリートが特定の目的で使用許諾を得ています。本資料のETFの合法性や適合性について、インデックスあるいは登録商標等の帰属する各会社及びその関係会社は、何ら判断を下していません。また、発行・後援・裏書・販売・宣伝もしていません。インデックスあるいは登録商標等の帰属する各会社及びその関係会社は、ETFに関していかなる保証も責任も負いません。また、ETFの資産運用や販売に関していかなる責任も負わず、管理運営に携わることもありません。

< 投資にかかるリスクについて >

ETFは、主に株式や債券などの有価証券、また金などのコモディティ、あるいはその他の資産に投資を行います。投資対象としているこれらの資産の値動きにより、ETFの基準価額が下落することがあります。これらの資産への投資には、市場リスク、金利リスク、カントリーリスク、信用リスク、為替リスク、流動性リスク等、様々なリスクがあり、ETFも同様のリスクが伴います。これらのリスク要因により、ETFの市場価格が下落する場合があります。その為、投資元本を割り込む恐れがあります。ETFは流通市場において株式と同様に取引されますが、取引価格は変動し、基準価額を下回ることがあります。また、常に取引可能であるとは限らず、市場環境が悪化している場合は、取引価格が大幅なディスカウントとなる可能性があります。ETFには上場廃止リスクがあり、純資産規模が縮小するなど、運用が困難になった場合や、上場取引所の上場基準に合致しなくなった場合、上場廃止となることがあります。これらは主なリスクであり、ETFへの投資に係るリスクはこれらに限定されるものではありません。

なお、コモディティETFやコモディティ指数連動証券は、市場全体動向の変化、金利の変化、および対象資産となるコモディティへの投機や裁定に係る取引活動に加え、天候や病気、通商条件あるいは政治や規制の展開の様な他の要因によって影響を受ける可能性があります。

免責事項

< ETFの投資にかかる一般的な留意事項 >

- ① 元本保証はされていません。
- ② ETFの一口あたりの純資産額の動きと連動を目指す特定の指数等の動きが乖離する可能性があります。
- ③ 市場価格とETFの一口あたりの純資産額が乖離する可能性があります。

< 手数料・費用について >

ETFを売買する際は、取扱いの金融商品取引業者の定める売買手数料がかかります。その他ETFを保有する際には、それぞれ個別に定められた費用がかかります。これらの費用には、運用会社・管理会社に支払う報酬、組入れ資産の売買の際に発生する手数料、ライセンス・フィー、監査費用等があります。これらは、運用の状況等によって変動するため、事前に上限額を示すことができません。本資料の掲載情報は作成時点のものであり、市場の環境その他の状況等により将来予告なく変更されることがあります。

免責事項

< SPDR® ゴールド・シェア (「GLD®」) およびSPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト (「GLDM®」) に関する重要情報 >

SPDRゴールド・トラストはGLDに係る、そしてワールド・ゴールド・トラストはGLDMに係る (目論見書などの) 届出書面をそれぞれ証券取引委員会 (「SEC」) に届け出ております。投資する前に、各ファンドがSECに届け出た届出書面の中の目論見書およびその他の文書をお読みになり、各ファンドとその勧誘に関するより完全な情報を得てください。各ファンドの目論見書で、各ファンドへの投資に伴うリスクに関する詳細な議論をご覧ください。GLDの目論見書はこちらをクリックすることで入手でき、GLDMの目論見書はこちらをクリックすることで入手できます。あるいは、SECのウェブサイトsec.gov上のEDGAR、またはspdrgoldshares.comにて無料で入手できます。他にも、866.320.4053までお電話でご請求いただければ、各ファンドまたは指定参加者が目論見書をお送りするよう手配いたします。

各ファンドとも1940年投資会社法 (「1940年法」) の下で登録された投資会社ではありません。そのため、各ファンドの投資主には1940年法の下で登録された投資会社の株式保有に伴う保護がありません。GLDおよびGLDMは1936年商品取引法 (「CEA」) の規制対象ではありません。そのため、GLDおよびGLDMの投資主にはCEAが提供する保護がありません。各ファンドの受益権は株式のように売買され、投資リスクがあり、時価が変動します。

GLD受益権およびGLDM受益権の価値は、各ファンドが保有する金の価値 (経費控除後) にそれぞれ直接関係しており、金価格の変動が受益権への投資に大幅に不利な影響を与える可能性があります。時価で売買される受益権の売却に際して受け取る価格は、受益権が表象する金の価値よりも多い場合も少ない場合もあります。

いずれのファンドもインカムを生じず、各ファンドは継続的に発生する経費を賄うべく金を定期的に売却するため、各ファンドの受益権が表象する金の量は時間の経過とともに相応分減少します。

ワールド・ゴールド・カウンシルの名称とロゴは登録商標であり、ライセンス契約に従ってワールド・ゴールド・カウンシルの許可を得て使用しています。ワールド・ゴールド・カウンシルは、本資料の内容について責任を負わず、また本資料の使用や依拠についても責任を負いません。ワールド・ゴールド・カウンシルはGLDおよびGLDMのスポンサーの関連会社です。

GLD®およびGLDM®はワールド・ゴールド・トラスト・サービスズLLCの登録商標であり、ワールド・ゴールド・トラスト・サービスズLLCの許可を得て使用しています。MiniShares®はWGC USAアセット・マネジメント・カンパニーLLCの登録商標であり、WGC USAアセット・マネジメント・カンパニーLLCの許可を得て使用しています。

さらなる情報については、GLDおよびGLDMのマーケティング・エージェントであるState Street Global Advisors Funds Distributors, LLC, One Iron Street, Boston, MA, 02210; T: +1 866 320 4053 spdrgoldshares.comへご連絡ください。

免責事項

※取得のお申し込みに当たっては、必ず上場有価証券等書面またはその他の開示書類の内容をご確認の上、ご自身でご判断下さい。
※購入のお申し込みや売買手数料等につきましては、当該ETFを取扱いの金融商品取引業者（証券会社等）までお問い合わせ下さい。

本件に関するお問い合わせは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
ETF担当代表電話：03-4530-7152、または SecMarketing_Japan@ssga.com までお願いいたします。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

東京都港区虎ノ門 1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー25階

金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長（金商）第345号

加入協会： 一般社団法人 日本投資顧問業協会、 一般社団法人 投資信託協会、 日本証券業協会